

<子育て>

Q 4 あなたにとって「子ども」とは何でしょうか。次の中であなたのお考えに近いものいくつでも○をつけて下さい。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 子どもは家の跡継ぎである | 8. 子どもがいると明るく楽しい |
| 2. 子どもは夫婦のきずなを深める | 9. 子どもは生きがい |
| 3. 子どもを持って初めて夫婦は社会から認められる | 10. 子どもがいると老後が安心 |
| 4. 子どもは次の社会を担う世代をつくる | 11. 子どもは手間がかかって面倒 |
| 5. 子どもを持つのは人間として自然のこと | 12. 子どもはお金がかかる |
| 6. 子どもは自分を成長させてくれる | 13. 子どもがいると自由が拘束される |
| 7. 子どもは夢を託すことができる | 14. 子どもは特に必要でない |
| | 15. その他 () |

(15~44)

Q 5 あなたにとって理想的な子どもの数は何人ですか。該当する番号に○をつけて下さい。

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 0人(子どもを持つつもりはない) | 4. 3人 |
| 2. 1人 | 5. 4人 |
| 3. 2人 | 6. 5人以上 |

(45)

Q 6 では、あなたは将来的に何人の子どもを持つつもりですか。現在おられるお子さんを含めてお答え下さい。該当する番号に○をつけて下さい。

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 0人(子どもを持つつもりはない) | 4. 3人 |
| 2. 1人 | 5. 4人 |
| 3. 2人 | 6. 5人以上 |

(46)

Q 7 理想の子どもの数よりも、持つつもりの子どもの方が少ない方、また、子どもを持つつもりのない方に伺います。その理由は何ですか。あてはまるものいくつでも○をつけて下さい。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 1. 仕事と子育ての両立が難しいから | 10. 学校教育や自然環境等に問題があるから |
| 2. 自分たちの自由な時間と育児は両立しないから | 11. 子どもを持つ必要性を感じないから |
| 3. 子育ての心理的、体力的負担を軽くしたいから | 12. 子どもが好きでないから |
| 4. 子どもを預けるのに適当な保育園がないから | 13. 夫婦のどちらかが仕事を辞めることになるから |
| 5. 子育てに費用がかかるから | 14. その他 () |
| 6. 住宅が狭いから | |
| 7. 年齢的に子どもを持つのが難しいから | |
| 8. 自分(配偶者)の健康上の理由で | |
| 9. これから持つ子が自分(配偶者)の定年退職までに成人しないから | |

(47~74)

Q 8 あなた方ご夫妻の間で、子どもを生むかどうか、または何人生むかどうかといった問題についてどちらの意思が優先されますか。該当する番号に○をつけて下さい。

1. 主に夫の意思が優先
2. 主に妻の意思が優先
3. どちらともいえない

(75)

Q 9 女性にとって、結婚・出産と仕事との関係には次の1~6のようなパターンが考えられます。AとBそれぞれについて該当する番号を回答欄にご記入下さい。

1. 職業にはつかない
2. 結婚・出産で退職しその後ずっと専業主婦でいる
3. 結婚・出産で退職するが、子どもがある程度成長してからパートで再就職する
4. 結婚・出産で退職するが、子どもがある程度成長してからフルタイムで再就職する
5. 結婚・出産に関わらず継続就業する
6. その他

A: あなたが理想とするライフパターンは上記の1~6のどれに近いですか。男性の場合は配偶者のケースでお答え下さい。

Aの回答

--

 (76)

B: では現実にはどうなると思いますか。上記の1~6のどれに近いですか。男性の場合は配偶者のケースでお答え下さい。

Bの回答

--

 (77)

次にあなたの職場のことについて伺います。

以下のQ10～Q17はお子さんのいらっしゃる方のみご回答して下さい。なお、質問への回答は一番下のお子さんについてお答え下さい。お子さんがいない方はQ18へ進んで下さい。

<育児休業制度>

育児休業制度は1992年4月に施行されたもので、1歳未満の子どもを養育する男女労働者が、子どもが満1歳に達するまで休業を取得できる制度。ただし、休業期間については、これを上回る規定をもっている企業もある。

Q10 一番下のお子さんが生まれた時、あなたは育児休業制度を利用しましたか。あてはまるものに○をつけて下さい。

1. 自分が利用した → Q11へ
2. 自分は利用しなかったが、配偶者が利用した → Q17へ
3. 制度はあったが、自分も配偶者も利用しなかった
4. 職場に育児休業制度が導入されていなかった → Q18へ

(78)

Q11 (Q10で1と回答の方に) なぜ、あなたが育児休業制度を利用することになったのですか。主なもの2つ以内で○をつけて下さい。

1. 配偶者の勤務先に育児休業制度がなかったから
2. 自分の勤務先の育児休業制度の方が有利(期間、金銭給付等)だから
3. 自分が取得する方が経済的な負担が軽いから
4. 配偶者の勤め先でこれまでに男性の利用者がいなかったから
5. 配偶者の仕事上の立場を考えて
6. 配偶者の将来における昇進・昇格への影響を考えて
7. 配偶者の職場の技術革新の進展についていけるかどうかを考えて
8. 配偶者の職場の雰囲気を考えて
9. 育児は自分の方が適していると思うから
10. その他 ()

(79～82)

Q12 (Q10で1と回答の方に) あなたが取得した育児休業期間は、お子さんがいつからいつまででしたか。

満 歳 月～ 満 歳 月まで
(83) (84～85) (86) (87～88)

(女性で産休後に引続き取得した場合は、産休後が育児休業の開始となります)

Q13 (Q10で1と回答の方に) あなたの勤務先の育児休業制度では、最長子どもがいくつになるまで育児休業を取ることが制度上認められていますか。

満 歳 月まで
(89) (90～91)

Q14 (Q10で1と回答の方に) あなたが育児休業制度を利用してみて、期間についてはどうでしたか。あてはまるものに○をつけて下さい。

1. 適当だったと思う
2. 短かったと思う
3. 長かったと思う

(92)

Q15 勤務先で認められている期間よりも短い期間しか育児休業を取得しなかった方に伺います。その理由はなぜですか。主なもの2つ以内で○をつけて下さい。

1. 子どもの保育についての手立て（親やベビーシッター等）がなかったため
2. 保育所への年度途中入所が困難であるため
3. 技術や仕事内容がどんどん変化していく職場であり、
これ以上休むと復帰後仕事についていけるかどうか不安であったため
4. 職場で責任のある重要な仕事をしていたため
5. 仕事がおもしろくやりがいを感じていたため
6. 長く休業すると同僚の仕事量が増え、迷惑がかかるため
7. 長く休業すると経済的に苦しいため
8. 長く休業すると、昇給や昇進で同期の人より遅れてしまうため
9. 長く休めない雰囲気があるため
10. その他（ ）

(93~96)

Q16 職場復帰されて苦労したことは何ですか。主なもの2つ以内で○をつけて下さい。

1. 技術や仕事内容がどんどん変化していく職場であり、
復帰後仕事についていくのに苦労した
2. 休業中は職場の情報が入ってこなかった
3. 元の職場に復帰できなかった
4. 復帰後、職場の人間関係がうまくいかなかった
5. 復帰後の処遇に影響があった
6. その他（ ）
7. 特に苦労したことはない

(97~98)

Q17 (Q10で2、3と回答の方に) なぜ、あなたは育児休業制度を利用しなかったのですか。主なもの3つ以内で○をつけて下さい。

1. 配偶者が働いていなかったため
2. 配偶者が育児休業を取得したため
3. 子どもの保育についての手立てがなかったため
4. 技術や仕事内容がどんどん変化していく職場であり、
休むと復帰後仕事についていけるかどうか不安だったため
5. 職場で責任のある重要な仕事をしていたため
6. 仕事がおもしろくやりがいを感じていたため
7. 休業するとその分、同僚の仕事量が増え、迷惑がかかるから
8. 復帰後の処遇に不安があったため
9. 休業すると経済的に苦しいため
10. 職場に育児休業を取得しづらい雰囲気があるため
11. 制度があることを知らなかった
12. その他（ ）

(99~104)

<企業風土・雰囲気>

Q18 あなたの職場では次のようなことはあてはまりますか。A～Mのそれぞれについて該当する番号に○をつけて下さい

	かなりあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえな	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	
A. 定時に退社しづらいなど「つきあい残業」的なものがある	1	2	3	4	5	(105)
B. 女性がお茶出しすることは当然といった雰囲気がある	1	2	3	4	5	(106)
C. 予定外の会議が突然退社間際に設定されることがある	1	2	3	4	5	(107)
D. 途中退社を言い出しにくい雰囲気がある	1	2	3	4	5	(108)
E. 有給休暇をとりにくい雰囲気がある	1	2	3	4	5	(109)
F. 女性は結婚・出産で退職するものという雰囲気がある	1	2	3	4	5	(110)
G. 子育て中の社員の仕事をバックアップする雰囲気がある	1	2	3	4	5	(111)
H. 育児休業期間をフルに使わずに復帰するケースが多い	1	2	3	4	5	(112)
I. 同僚の男性が育児休業を取得することについて社内の偏見がある	1	2	3	4	5	(113)
J. 育児休業を取得するとその後の昇進にマイナスの影響がある	1	2	3	4	5	(114)
K. 子育てしながら働き続けやすい雰囲気がある	1	2	3	4	5	(115)
L. 女性が管理職になれる希望がもてる雰囲気がある	1	2	3	4	5	(116)
M. 転職に際して家族事情を考慮してくれる	1	2	3	4	5	(117)

<職場への希望>

Q19 仕事と育児の両立のために、勤務先の企業内福祉制度や環境整備面で最も必要と思われるものを上位3つ以内で順位をつけて番号を記入して下さい。

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 育児休業期間の延長 | 14. 男性労働者の育児休業制度の取得推進対策 |
| 2. 育児休業中の賃金保障の拡充 | 15. 育児期間中の職場の上司や同僚の理解 |
| 3. 育児のための短時間勤務制度の整備・充実 | 16. 育児期間中における転勤・単身赴任の考慮 |
| 4. 1日の労働時間の短縮 | 17. 企業内で保育所の情報収集や家庭相談ができる窓口の設置 |
| 5. 残業・休日出勤の削減 | 18. その他 () |
| 6. 子どもの病気を理由とする看護休暇 | |
| 7. 年休取得の柔軟化 (半日や時間単位の取得) | |
| 8. 一時的な就労形態の変更 (パートタイム勤務など) | |
| 9. フレックスタイム制の適用 | |
| 10. サテライト・オフィスや在宅勤務制度の適用 | |
| 11. 事業所内託児施設の設置 | |
| 12. 育児休業期間中の代替要員の確保 | |
| 13. 休職ならびに職場復帰時のフォローシステム (研修・教育・訓練) の確立 | |

第1位	<input type="text"/>	(118~119)
第2位	<input type="text"/>	(120~121)
第3位	<input type="text"/>	(122~123)

＜国や地方自治体への希望＞

Q20 あなたは、働く女性が育児と両立させながら仕事を継続していくために、国・自治体は今後どのような施策や援助をしていくべきだと思いますか。主なもの3つ以内選んで○をつけて下さい。

1. 育児休業給付金の改善
2. 0歳児保育の拡充
3. 延長保育の拡充
4. 夜間保育の拡充
5. 日曜、祝日でも保育できるような体制づくり
6. 育児費用助成金（育児のためにベビーシッター、ホームヘルパー等の利用者への補助金）の拡充
7. 保育料の低減化
8. 子育てについての不安や悩みを相談する窓口や機関の拡充
9. 学童保育など放課後における子どもの育成・指導の充実
10. 子どもの健全育成のための街づくりや地域活動等のネットワーク化
11. 男女を対象にした仕事と育児の両立支援セミナー（両立にあたっての心構えや基礎的な知識）の拡充
12. 女性の職業能力開発に関する情報提供、助言、指導等の充実
13. 学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解・協力についての学習の充実

(124～129)

最後に、家事・育児についてのご夫婦の役割分担や意思決定についてお伺いします。

＜役割分担＞

Q21 おたくでは、次にあげるような日常的な家事分担はどのようにされていますか。A～Fのそれぞれについてあてはまる番号に○をつけて下さい。

	主に夫	主に妻	夫婦で同じように分担	主に夫婦以外の人	
A. 掃除	1	2	3	4	(130)
B. 洗濯	1	2	3	4	(131)
C. 食事づくり	1	2	3	4	(132)
D. 食事の後かたづけ	1	2	3	4	(133)
E. 親戚つきあい（冠婚葬祭など）	1	2	3	4	(134)
F. 町内会の行事や会合への出席、役員引き受けなど	1	2	3	4	(135)

Q22 0歳～小学校3年までのお子さんをお持ちの方に伺います。そのお子さんの日常の育児についてご夫婦でどのように分担なさっていますか。A～Fのそれぞれについてあてはまる番号に○をつけて下さい。

	主に夫	主に妻	夫婦で同じように分担	主に夫婦以外の人	保育所・幼稚園・学校に通っていない	
A. 子どもと一緒に遊ぶ	1	2	3	4		(136)
B. 子どもの身の回りの世話	1	2	3	4		(137)
C. 子どもが病気になった時の世話	1	2	3	4		(138)
D. 保育所・幼稚園・学校の連絡帳をみたり書いたりする	1	2	3	4	5	(139)
E. 保育所・幼稚園・学校などの送迎	1	2	3	4	5	(140)
F. 保育所・幼稚園・学校などの行事参加	1	2	3	4	5	(141)

- Q23 おたくの日常の家事・育児について夫婦の分担状況はどうか。あてはまるものに○をつけて下さい。
1. 自分の方が負担が重い
 2. 負担は同程度
 3. 自分の方が負担は軽い
- (142)

Q24 家事・育児について夫婦で共同に分担していく上で障害になっていることは何ですか。自分のこと、配偶者のことについてそれぞれ主なもの2つ以内で番号を選んで下さい。

1. 職場での時間外労働が多い
2. 交替勤務や日曜が週休でないなどの変則的な勤務時間
3. 出張が多い
4. 通勤時間が長い
5. 職場の人達の無理解
6. 親戚や地域の人達の視線がある
7. 女性が家事・育児をするものと思っている
8. その他
9. 特に問題はない

A : 自分のこと

--	--

 (143~144)

B : 配偶者のこと

--	--

 (145~146)

Q25 「世帯の稼ぎ手」についてうかがいます。次のうち、あなたがよいと思うのはどれですか。あてはまるものに○をつけて下さい。

1. 夫婦2人の収入で家計を維持するのがよい
 2. 夫の収入を主とし、妻が補助的に収入を得るのがよい
 3. 夫の収入のみで家計を維持するのがよい
 4. 夫婦どちらか一人の収入で家計を維持するのがよい
- (147)

Q26 あなた方ご夫妻はどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。あてはまるもの1つを選んで○をつけて下さい。

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 職場や仕事の関係で 2. 学校で 3. 学校・職場以外のサークル活動、
同好会を通じて 4. 幼なじみ・隣人関係 5. 友人やきょうだいを通じて | <ol style="list-style-type: none"> 6. 見合いで(親戚、知人、上役などの紹介を含む) 7. 街なかや旅先で 8. アルバイトで 9. 社会的な活動を通じて 10. 結婚相談所を通じて 11. その他 () |
|---|---|
- (148~149)

あなたご自身のこと、ご家族のこと、及び勤め先のことについてお伺いします。

最初にあなた自身や家族のことについてお伺いします。記入欄がある場合は数字をご記入下さい。それ以外は、あてはまるものに○をつけて下さい。

F1 あなたの年齢(1998年8月1日現在)

満

 歳

(150~151)

F2 あなたの性別

1. 男性
 2. 女性
- (152)

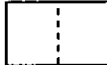
F3 最終学歴

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 中卒 2. 高卒 | <ol style="list-style-type: none"> 3. 短大・高専卒(専門学校卒を含む) 4. 大卒・大学院修了 |
|--|--|
- (153)

F4 あなたの居住地

1. 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県など東京への通勤圏)
 2. 京阪神圏(大阪市、京都市、神戸市への通勤圏)
 3. 1~2以外の100万人以上の市(札幌市、仙台市、名古屋市、広島市、福岡市)とその通勤圏
 4. 1~3以外の10万人以上の市
 5. 1~4以外の市町村
- (154)

F 5 あなたが現在の配偶者と結婚されたのはいくつの時ですか。

	歳
(155~156)	

F 6 世帯構成

1. 夫婦のみ
2. 夫婦と子ども
3. 夫婦と子どもと親
4. その他

(157)

F 7 あなたにはお子さんが現在何人いらっしゃいますか。

- | | |
|-------|------------|
| 1. 1人 | 4. 4人 |
| 2. 2人 | 5. 5人以上 |
| 3. 3人 | 6. 子どもはいない |

(158)

F 8 (お子さんがいる方に) あなたのA: お子さんの成長段階、B: 0歳~小学校3年までのお子さんについては、働いている間(小学生の場合は放課後)の保育や世話の状況について、主なものを2つ以内でそれぞれのお子さんごとに番号をご記入下さい。

A: 子どもの成長段階

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 0歳 | 5. 小学1~3年 |
| 2. 1~2歳 | 6. 小学4~6年 |
| 3. 3~4歳 | 7. 中学生 |
| 4. 5歳以上就学前 | 8. 高校生以上 |

B: 働いている間(小学生の場合は放課後)の子どもの保育・世話

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 認可保育園・公立保育園 | 7. 同居の家族(配偶者を除く) |
| 2. 無認可保育園 | 8. 近くに住んでいる親族 |
| 3. 事業所内託児施設 | 9. 知人・近所の人 |
| 4. 保育ママ | 10. 学童保育 |
| 5. ベビーシッター | 11. 子どもだけでいる |
| 6. 配偶者 | 12. その他 |

A: 子どもの
成長段階

B: 子どもの保育・
世話

第1子		
第2子		
第3子		
第4子		
第5子		

(159~163)

(164~183)

次に、あなたの勤め先についてうかがいます。

F 9 あなたの勤め先の主たる業種

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 鉱業 | 7. 卸売・小売業・飲食店 |
| 2. 建設業 | 8. 金融・保険業、不動産業 |
| 3. 製造業 | 9. 出版・印刷業、マスコミ |
| 4. 電気・ガス・熱供給業・水道業 | 10. サービス業 |
| 5. 交通・運輸業 | 11. 公務 |
| 6. 情報・通信業 | 12. その他 |

(184~185)

F 10 あなたの勤め先全体の全従業員数

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 99人以下 | 4. 3,000~4,999人 |
| 2. 100~999人 | 5. 5,000人以上 |
| 3. 1,000~2,999人 | |

(186)

F 11 あなたの職種

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 技能職・現業職
(含む運転手、機械・器具の整備) | 4. 技術・研究職 |
| 2. 事務職(含む営業事務) | 5. その他の専門職(教諭、保健婦、保母など) |
| 3. 営業・販売・サービス職 | 6. その他 |

(187)

F 12 現在の勤務形態

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 常昼勤務・通常 | 4. 交替制勤務・深夜なし |
| 2. 常昼勤務・フレックス制勤務 | 5. 交替制勤務・深夜あり |
| 3. 常昼勤務・変形労働時間制 | 6. その他 |

(188)

F 13 平日の片道・通勤時間

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 15分未満 | 4. 45～59分 |
| 2. 15～29分 | 5. 1時間～1時間29分 |
| 3. 30～44分 | 6. 1時間30分以上 |

(189)

F 14 平日の平均勤務時間（出社時間から退社時間まで。残業時間を含む）

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 5時間未満 | 6. 9時間～10時間未満 |
| 2. 5時間～6時間未満 | 7. 10時間～11時間未満 |
| 3. 6時間～7時間未満 | 8. 11時間～12時間未満 |
| 4. 7時間～8時間未満 | 9. 12時間以上 |
| 5. 8時間～9時間未満 | |

(190)

F 15 平日の平均帰宅時間（自宅に到着する時刻）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 午後6時前 | 4. 午後8～9時 |
| 2. 午後6～7時 | 5. 午後9～10時 |
| 3. 午後7～8時 | 6. 午後10時以降 |

(191)

F 16 日曜日について

1. 毎週休み
2. 毎週は休みではない
3. 休みではない

(192)

F 17 現在の職場での勤続年数（8月1日現在、育児休業期間を含む）

□	年目
(193～194)	

F 18 これまでの延べの就労年数（8月1日現在、育児休業期間を含む。転職経験のない方は前問と同じ年数をご記入下さい）

□	年目
(195～196)	

F 19 あなた本人の97年1～12月までの税込み年間収入

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 200万円未満 | 4. 600万円以上800万円未満 |
| 2. 200万円以上400万円未満 | 5. 800万円以上1000万円未満 |
| 3. 400万円以上600万円未満 | 6. 1000万円以上 |

(197)

<以上で終了です。長時間にわたりご協力いただきましてありがとうございました。>

この後は配偶者の方にご記入をお願い致します。

【配偶者の方用】

家事・育児と女性の就業支援に関する調査

【調査ご協力をお願い】

21世紀を目前にひかえ、急速に進む少子化現象がますます深刻な問題となっています。その解決のためには、社会保障・社会福祉の充実をはじめ、総合的な対策が必要とされていますが、働く者にとっては、家庭生活と職業生活が両立するような環境条件の整備もまた重要な問題です。そこで、連合総研「少子化問題研究委員会」では、女性の職業生活支援など、家庭生活と職業生活の両立をはかるための政策的諸課題について研究を進めてまいりましたが、その研究の基礎資料とするため、皆様の育児・家庭生活の現状やご意見をお聞きしたいと考え、「家事・育児と女性の就業支援に関する調査」を実施することとなりました。ご多忙の中をまことに恐縮ではございますが、なにとぞよろしくご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

【ご記入に際しての注意】

1. この調査票は、組合員（2～10頁）とその配偶者の方（11～20頁）に回答していただくようになっております。切り離さないでご提出下さい。
2. ご回答は、多くはあてはまる番号を○で囲んでいただきますが、一部に該当する番号を選んで□に記入していただく場合もありますので、ご注意ください。
3. ご回答にあたっては、特にことわりのない場合は1つだけ選んで下さい。
4. ご回答の結果は数値化して集計しますので、個人の意見等が外部に漏れることはありません。率直なご意見をありのままご記入願います。

記入が終わりましたら、調査票を同封の封筒に入れて9月16日までに投函して下さい。

◎記入上、ご不明な点等ありましたら、下記までお問い合わせ下さい。

1998年7月
（財）連合総合生活開発研究所
〒102-0072東京都千代田区飯田橋1-3-2
曙杉館ビル3F
TEL 03-5210-0851/FAX 03-5210-0852
（担当：鈴木・宮崎）

性別役割や女性のライフスタイルなどに関するご意見について伺います。

<女性と仕事、男女の役割分担など>

Q1 女性に関して次のような意見があります。あなたはこのような意見についてどう思われますか。それぞれについて該当する番号に○をつけて下さい。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	
A. 女性は家庭や仕事、趣味などを選択しながら人生を送ることができるから得だ	1	2	3	4	(1)
B. 女性は家事や育児の責任を負わされるから損だ	1	2	3	4	(2)

Q2 次にあげる男女の役割分担についてあなたはどのように感じますか。A～Gのそれぞれについて該当する番号に○をつけて下さい。

	非常に抵抗を感じる	少し抵抗を感じる	あまり抵抗を感じない	全く抵抗を感じない	
A. 妻の来客を夫がもてなす	1	2	3	4	(3)
B. 夫が食事のしたくをする	1	2	3	4	(4)
C. 夫が洗濯をする	1	2	3	4	(5)
D. 妻が外に出て働き、夫が専ら家事をする	1	2	3	4	(6)
E. 男性が育児休業を取得する	1	2	3	4	(7)
F. 女性の上司のもとで仕事をする	1	2	3	4	(8)
G. 男の子に食事のしたくをさせる	1	2	3	4	(9)

Q3 女性の就業や家のあり方について次のような意見があります。あなたはこのような意見についてどのように思われますか。それぞれについて該当する番号を○で囲んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえません	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	
A. 女性は子どもができて働き続けるのがよい	1	2	3	4	5	(10)
B. 家系を存続させるため、妻は子どもを産むべきだ	1	2	3	4	5	(11)
C. 老後は子や孫と一緒に暮らすのが望ましい	1	2	3	4	5	(12)
D. 結婚したら妻は夫の家風になじむべきだ	1	2	3	4	5	(13)
E. 結婚しても希望すれば夫婦は別の姓を名乗ることができるのが望ましい	1	2	3	4	5	(14)

<子育て>

Q 4 あなたにとって「子ども」とは何でしょうか。次の中であなたのお考えに近いものにいくつでも○をつけて下さい。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 子どもは家の跡継ぎである | 8. 子どもがいると明るく楽しい |
| 2. 子どもは夫婦のきずなを深める | 9. 子どもは生きがい |
| 3. 子どもを持って初めて夫婦は社会から認められる | 10. 子どもがいると老後が安心 |
| 4. 子どもは次の社会を担う世代をつくる | 11. 子どもは手間がかかって面倒 |
| 5. 子どもを持つのは人間として自然のこと | 12. 子どもはお金がかかる |
| 6. 子どもは自分を成長させてくれる | 13. 子どもがいると自由が拘束される |
| 7. 子どもは夢を託すことができる | 14. 子どもは特に必要でない |
| | 15. その他 () |
- (15~44)

Q 5 あなたにとって理想的な子どもの数は何人ですか。該当する番号に○をつけて下さい。

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 0人 (子どもを持つつもりはない) | 4. 3人 |
| 2. 1人 | 5. 4人 |
| 3. 2人 | 6. 5人以上 |
- (45)

Q 6 では、あなたは将来的に何人の子どもを持つつもりですか。現在おられるお子さんを含めてお答え下さい。該当する番号に○をつけて下さい。

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 0人 (子どもを持つつもりはない) | 4. 3人 |
| 2. 1人 | 5. 4人 |
| 3. 2人 | 6. 5人以上 |
- (46)

Q 7 理想の子どもの数よりも、持つつもりの子どもの方が少ない方、また、子どもを持つつもりのない方に伺います。その理由は何ですか。あてはまるものいくつでも○をつけて下さい。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 1. 仕事と子育ての両立が難しいから | 10. 学校教育や自然環境等に問題があるから |
| 2. 自分たちの自由な時間と育児は両立しないから | 11. 子どもを持つ必要性を感じないから |
| 3. 子育ての心理的、体力的負担を軽くしたいから | 12. 子どもが好きでないから |
| 4. 子どもを預けるのに適当な保育園がないから | 13. 夫婦のどちらかが仕事を辞めることになるから |
| 5. 子育てに費用がかかるから | 14. その他 () |
| 6. 住宅が狭いから | |
| 7. 年齢的に子どもを持つのが難しいから | |
| 8. 自分(配偶者)の健康上の理由で | |
| 9. これから持つ子が自分(配偶者)の定年退職までに成人しないから | |
- (47~74)

Q 8 あなた方ご夫妻の間で、子どもを生むかどうか、または何人生むかどうかといった問題についてどちらの意思が優先されますか。該当する番号に○をつけて下さい。

- | |
|--------------|
| 1. 主に夫の意思が優先 |
| 2. 主に妻の意思が優先 |
| 3. どちらともいえない |
- (75)

Q 9 女性にとって、結婚・出産と仕事との関係には次の1~6のようなパターンが考えられます。AとBそれぞれについて、該当する番号を回答欄にご記入下さい。

1. 職業にはつかない
2. 結婚・出産で退職しその後ずっと専業主婦でいる
3. 結婚・出産で退職するが、子どもがある程度成長してからパートで再就職する
4. 結婚・出産で退職するが、子どもがある程度成長してからフルタイムで再就職する
5. 結婚・出産に関わらず継続就業する
6. その他

A: あなたが理想とするライフパターンは上記の1~6のどれに近いですか。男性の場合は配偶者のケースでお答え下さい。
B: では現実にはどうなると思いますか。上記の1~6のどれに近いですか。男性の場合は配偶者のケースでお答え下さい。

Aの回答		(76)
Bの回答		(77)

次にあなたの職場のことについて伺います。勤務していない方はQ21へ進んで下さい。

以下のQ10～Q17はお子さんのいらっしゃる方のみご回答して下さい。なお、質問への回答は一番下のお子さんについてお答え下さい。お子さんがいない方はQ18へ進んで下さい。

<育児休業制度>

育児休業制度は1992年4月に施行されたもので、1歳未満の子どもを養育する男女労働者が、子どもが満1歳に達するまで休業を取得できる制度。ただし、休業期間については、これを上回る規定をもっている企業もある。

Q10 一番下のお子さんが生まれた時、あなたは育児休業制度を利用しましたか。あてはまるものに○をつけて下さい。

1. 自分が利用した → Q11へ
2. 自分は利用しなかったが、配偶者が利用した → Q17へ
3. 制度はあったが、自分も配偶者も利用しなかった → Q17へ
4. 職場に育児休業制度が導入されていなかった → Q18へ

(78)

Q11 (Q10で1と回答の方に) なぜ、あなたが育児休業制度を利用することになったのですか。主なもの2つ以内で○をつけて下さい。

1. 配偶者の勤務先に育児休業制度がなかったから
2. 自分の勤務先の育児休業制度の方が有利(期間、金銭給付等)だから
3. 自分が取得する方が経済的な負担が軽いから
4. 配偶者の勤め先でこれまでに男性の利用者がいなかったから
5. 配偶者の仕事上の立場を考えて
6. 配偶者の将来における昇進・昇格への影響を考えて
7. 配偶者の職場の技術革新の進展についていけるかどうかを考えて
8. 配偶者の職場の雰囲気を考えて
9. 育児は自分の方が適していると思うから
10. その他()

(79～82)

Q12 (Q10で1と回答の方に) あなたが取得した育児休業期間は、お子さんがいくつからいくつまででしたか。

満 歳 月～ 満 歳 月まで
(83) (84～85) (86) (87～88)

(女性で産休後に引続き取得した場合は、産休後が育児休業の開始となります)

Q13 (Q10で1と回答の方に) あなたの勤務先の育児休業制度では、最長子どもがいくつになるまで育児休業を取ることが制度上認められていますか。

満 歳 月まで
(89) (90～91)

(女性で産休後に引続き取得した場合は、産休後が育児休業の開始となります)

Q14 (Q10で1と回答の方に) あなたが育児休業制度を利用して見て、期間についてはどうでしたか。あてはまるものに○をつけて下さい。

1. 適当だったと思う
2. 短かったと思う
3. 長かったと思う

(92)

Q15 勤務先で認められている期間よりも短い期間しか育児休業を取得しなかった方に伺います。その理由はなぜですか。主なもの2つ以内で○をつけて下さい。

1. 子どもの保育についての手立て（親やベビーシッター等）がなかったため
2. 保育所への年度途中入所が困難であるため
3. 技術や仕事内容がどんどん変化していく職場であり、
これ以上休むと復帰後仕事についていけないかどうか不安であったため
4. 職場で責任のある重要な仕事をしてきたため
5. 仕事がおもしろくやりがいを感じていたため
6. 長く休業すると同僚の仕事量が増え、迷惑がかかるため
7. 長く休業すると経済的に苦しいため
8. 長く休業すると、昇給や昇進で同期の人より遅れてしまうため
9. 長く休めない雰囲気があるため
10. その他（ ）

(93~96)

Q16 職場復帰されて苦労したことは何ですか。主なもの2つ以内で○をつけて下さい。

1. 技術や仕事内容がどんどん変化していく職場であり、
復帰後仕事についていくのに苦労した
2. 休業中は職場の情報が入ってこなかった
3. 元の職場に復帰できなかった
4. 復帰後、職場の人間関係がうまくいかなかった
5. 復帰後の処遇に影響があった
6. その他（ ）
7. 特に苦労したことはない

(97~98)

Q17 （Q10で2、3と回答の方に）なぜ、あなたは育児休業制度を利用しなかったのですか。主なもの3つ以内で○をつけて下さい。

1. 配偶者が働いていなかったため
2. 配偶者が育児休業を取得したため
3. 子どもの保育についての手立てがなかったため
4. 技術や仕事内容がどんどん変化していく職場であり、
休むと復帰後仕事についていけないかどうか不安だったため
5. 職場で責任のある重要な仕事をしてきたため
6. 仕事がおもしろくやりがいを感じていたため
7. 休業するとその分、同僚の仕事量が増え、迷惑がかかるから
8. 復帰後の処遇に不安があったため
9. 休業すると経済的に苦しいため
10. 職場に育児休業を取得しづらい雰囲気があるため
11. 制度があることを知らなかった
12. その他（ ）

(99~104)

<企業風土・雰囲気>

Q18 あなたの職場では次のようなことはあてはまりますか。A～Mのそれぞれについて該当する番号に○をつけて下さい。

	かなりあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	
A. 定時に退社しづらいなど「つきあい残業」的なものがある	1	2	3	4	5	(105)
B. 女性がお茶出しすることは当然といった雰囲気がある	1	2	3	4	5	(106)
C. 予定外の会議が突然退社間際に設定されることがある	1	2	3	4	5	(107)
D. 途中退社を言い出しにくい雰囲気がある	1	2	3	4	5	(108)
E. 有給休暇をとりにくい雰囲気がある	1	2	3	4	5	(109)
F. 女性は結婚・出産で退職するものという雰囲気がある	1	2	3	4	5	(110)
G. 子育て中の社員の仕事をバックアップする雰囲気がある	1	2	3	4	5	(111)
H. 育児休業期間をフルに使わずに復帰するケースが多い	1	2	3	4	5	(112)
I. 同僚の男性が育児休業を取得することについて社内の偏見がある	1	2	3	4	5	(113)
J. 育児休業を取得するとその後の昇進にマイナスの影響がある	1	2	3	4	5	(114)
K. 子育てしながら働き続けやすい雰囲気がある	1	2	3	4	5	(115)
L. 女性が管理職になれる希望がもてる雰囲気がある	1	2	3	4	5	(116)
M. 転勤に際して家族事情を考慮してくれる	1	2	3	4	5	(117)

<職場への希望>

Q19 仕事と育児の両立のために、勤務先の企業内福祉制度や環境整備面で最も必要と思われるものを上位3つ以内で順位をつけて番号を記入して下さい。

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 育児休業期間の延長 | 14. 男性労働者の育児休業制度の取得推進対策 |
| 2. 育児休業中の賃金保障の拡充 | 15. 育児期間中の職場の上司や同僚の理解 |
| 3. 育児のための短時間勤務制度の整備・充実 | 16. 育児期間中における転勤・単身赴任の考慮 |
| 4. 1日の労働時間の短縮 | 17. 企業内で保育所の情報収集や家庭相談ができる窓口の設置 |
| 5. 残業・休日出勤の削減 | 18. その他 () |
| 6. 子どもの病気を理由とする看護休暇 | |
| 7. 年休取得の柔軟化 (半日や時間単位の取得) | |
| 8. 一時的な就労形態の変更 (パートタイム勤務など) | |
| 9. フレックスタイム制の適用 | |
| 10. サテライト・オフィスや在宅勤務制度の適用 | |
| 11. 事業所内託児施設の設置 | |
| 12. 育児休業期間中の代替要員の確保 | |
| 13. 休職ならびに職場復帰時のフォローシステム (研修・教育・訓練) の確立 | |

第1位	<input type="text"/>	(118~119)
第2位	<input type="text"/>	(120~121)
第3位	<input type="text"/>	(122~123)

<国や地方自治体への希望>

Q20 あなたは、働く女性が育児と両立させながら仕事を継続していくために、国・自治体は今後どのような施策や援助をしていくべきだと思いますか。主なもの3つ以内選んで○をつけて下さい。

1. 育児休業給付金の改善
2. 0歳児保育の拡充
3. 延長保育の拡充
4. 夜間保育の拡充
5. 日曜、祝日でも保育できるような体制づくり
6. 育児費用助成金（育児のためにベビーシッター、ホームヘルパー等の利用者への補助金）の拡充
7. 保育料の低減化
8. 子育てについての不安や悩みを相談する窓口や機関の拡充
9. 学童保育など放課後における子どもの育成・指導の充実
10. 子どもの健全育成のための街づくりや地域活動等のネットワーク化
11. 男女を対象にした仕事と育児の両立支援セミナー（両立にあたっての心構えや基礎的な知識）の拡充
12. 女性の職業能力開発に関する情報提供、助言、指導等の充実
13. 学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解・協力についての学習の充実

(124~129)

最後に、家事・育児についてのご夫婦の役割分担や意思決定についてお伺いします。

<役割分担>

Q21 おたくでは、次にあげるような日常的な家事分担はどのようにされていますか。A~Fのそれぞれについてあてはまる番号に○をつけて下さい。

	主に夫	主に妻	夫婦で同じように分担	主に夫婦以外の人	
A. 掃除	1	2	3	4	(130)
B. 洗濯	1	2	3	4	(131)
C. 食事づくり	1	2	3	4	(132)
D. 食事の後かたづけ	1	2	3	4	(133)
E. 親戚つきあい（冠婚葬祭など）	1	2	3	4	(134)
F. 町内会の行事や会合への出席、役員引き受けなど	1	2	3	4	(135)

Q22 0歳～小学校3年以下のお子さんをお持ちの方に伺います。そのお子さんの日常の育児についてご夫婦でどのように分担なさっていますか。A~Fのそれぞれについてあてはまる番号に○をつけて下さい。

	主に夫	主に妻	夫婦で同じように分担	主に夫婦以外の人	保育所・幼稚園・学校に通っていない	
A. 子どもと一緒に遊ぶ	1	2	3	4		(136)
B. 子どもの身の回りの世話	1	2	3	4		(137)
C. 子どもが病気になった時の世話	1	2	3	4		(138)
D. 保育所・幼稚園・学校の連絡帳をみたり書いたりする	1	2	3	4	5	(139)
E. 保育所・幼稚園・学校などの送迎	1	2	3	4	5	(140)
F. 保育所・幼稚園・学校などの行事参加	1	2	3	4	5	(141)

- Q23 おたくの日常の家事・育児について夫婦の分担状況はどうですか。あてはまるものに○をつけて下さい。
1. 自分の方が負担が重い
 2. 負担は同程度
 3. 自分の方が負担は軽い
- (142)

Q24 家事・育児について夫婦で共同に分担していく上で障害になっていることは何ですか。自分のこと、配偶者のことについてそれぞれ主なもの2つ以内で番号を選んで下さい。

1. 職場での時間外労働が多い
2. 交替勤務や日曜が週休でないなどの変則的な勤務時間
3. 出張が多い
4. 通勤時間が長い
5. 職場の人達の無理解
6. 親戚や地域の人達の視線がある
7. 女性が家事・育児をするものと思っている
8. その他
9. 特に問題はない

A : 自分

--	--

(143~144)

B : 配偶者

--	--

(145~146)

Q25 「世帯の稼ぎ手」についてうかがいます。次のうち、あなたがよいと思うのはどれですか。あてはまるものに○をつけて下さい。

1. 夫婦2人の収入で家計を維持するのがよい
2. 夫の収入を主とし、妻が補助的に収入を得るのがよい
3. 夫の収入のみで家計を維持するのがよい
4. 夫婦どちらか一人の収入で家計を維持するのがよい

(147)

あなたご自身のこと、ご家族のこと、及び勤め先のことについてお伺いします。

最初にあなた自身のことについてお伺いします。記入欄がある場合は数字をご記入下さい。それ以外は、あてはまるものに○をつけて下さい。

F 1 あなたの年齢（1998年8月1日現在）

満

--	--

 歳

(148~149)

F 2 あなたの性別

1. 男性
2. 女性

(150)

F 3 最終学歴

1. 中卒
2. 高卒
3. 短大・高専卒（専門学校卒を含む）
4. 大卒・大学院修了

(151)

F 4 あなたが現在の配偶者と結婚されたのはいつの時ですか。

--	--

 歳

(152~153)

F 5 あなたは現在お勤めをされていますか。

1. フルタイムで勤めている
2. パート・アルバイト・派遣で勤めている
3. 自営業をしている
4. 内職をしている
5. 勤めていない

}

F 6へ進んで下さい。

}

質問はこれで終わりです。

(154)

次に、あなたの勤め先についてうかがいます（前問で1と2の方のみ）。

F 6 あなたの勤め先の主たる業種

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 鉱業 | 7. 卸売・小売業・飲食店 |
| 2. 建設業 | 8. 金融・保険業、不動産業 |
| 3. 製造業 | 9. 出版・印刷業、マスコミ |
| 4. 電気・ガス・熱供給業・水道業 | 10. サービス業 |
| 5. 交通・運輸業 | 11. 公務 |
| 6. 情報・通信業 | 12. その他 |

(155~156)

F 7 あなたの勤め先全体の全従業員数

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 99人以下 | 4. 3,000~4,999人 |
| 2. 100~999人 | 5. 5,000人以上 |
| 3. 1,000~2,999人 | |

(157)

F 8 あなたの職種

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 技能職・現業職
（含む運転手、機械・器具の整備） | 4. 技術・研究職 |
| 2. 事務職（含む営業事務） | 5. その他の専門職（教諭、保健婦、保母など） |
| 3. 営業・販売・サービス職 | 6. その他 |

(158)

F 9 現在の勤務形態

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 常昼勤務・通常 | 4. 交替制勤務・深夜なし |
| 2. 常昼勤務・フレックス制勤務 | 5. 交替制勤務・深夜あり |
| 3. 常昼勤務・変形労働時間制 | 6. その他 |

(159)

F 10 平日の片道・通勤時間

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 15分未満 | 4. 45~59分 |
| 2. 15~29分 | 5. 1時間~1時間29分 |
| 3. 30~44分 | 6. 1時間30分以上 |

(160)

F 11 平日の平均勤務時間（出社時間から退社時間まで。残業時間を含む）

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 5時間未満 | 6. 9時間~10時間未満 |
| 2. 5時間~6時間未満 | 7. 10時間~11時間未満 |
| 3. 6時間~7時間未満 | 8. 11時間~12時間未満 |
| 4. 7時間~8時間未満 | 9. 12時間以上 |
| 5. 8時間~9時間未満 | |

(161)

F 12 平日の平均帰宅時間（自宅に到着する時刻）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 午後5時前 | 5. 午後8~9時 |
| 2. 午後5~6時 | 6. 午後9~10時 |
| 3. 午後6~7時 | 7. 午後10時以降 |
| 4. 午後7~8時 | |

(162)

F 13 日曜日について

- | |
|--------------|
| 1. 毎週休み |
| 2. 毎週は休みではない |
| 3. 休みではない |

(163)

F 14 現在の職場での勤続年数（8月1日現在、育児休業期間を含む）

年目

(164~165)

F15 これまでの延べの就労年数（8月1日現在、育児休業期間を含む。転職経験のない方は前問と同じ年数をご記入下さい）

	年目
(166~167)	

F16 あなた本人の97年1～12月までの税込み年間収入

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 103万円未満 | 5. 400万円以上600万円未満 |
| 2. 103～200万円未満 | 6. 600万円以上800万円未満 |
| 3. 200万円未満 | 7. 800万円以上1000万円未満 |
| 4. 200万円以上400万円未満 | 8. 1000万円以上 |

(168)

<以上で終了です。長時間にわたりご協力いただきましてありがとうございました。>